「連携地域別政策展開方針」について

1 方針の概要

「連携地域別政策展開方針」は、北海道地域振興条例に基づき、地域振興を効果的に推進するため、 北海道総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、6つの連携地域ごとに策定する地域計画

地域の総力により地域づくりを進めるため、市町村や地域の関係者の参画を得て、令和3年度(令和4年1月)から概ね4年を推進期間として策定

なお、第2期北海道創生総合戦略の「地域戦略」としての位置付けを併せ持つ

2 構成

〇 地域のめざす姿

総合計画の終期である令和7年度を 目途にめざす地域の姿

〇 これまでの取組と課題

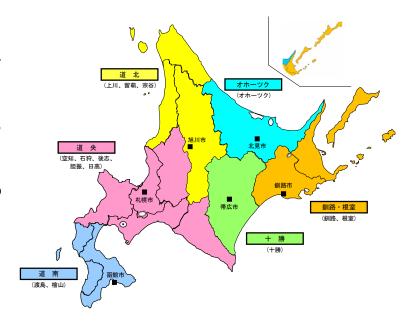
連携地域と振興局所管地域における これまでの取組と今後の課題

〇 主な施策の展開方向

方針の推進期間における連携地域の 主な施策の方向、振興局所管地域の 重点的な施策の方向

〇 地域重点政策ユニット

「主な施策の展開方向」に基づき、 重点的に取り組むプロジェクト



3 主なプロジェクト

各連携地域は、それぞれの地域のめざす姿の実現に向け、多様な主体と連携・協働して、地域の特性や資源などを活かしたプロジェクトを推進【全51プロジェクト】

連携地域(※)	プロジェクト(例)	主な施策	主なKPI
道央広域	日本遺産「炭鉄港」を活用した	■次代に「繋ぐ」炭鉄港	〇炭鉄港推進協議会構成市町への
【18 プロジェクト】	交流人口拡大プロジェクト	■地域で「稼ぐ」炭鉄港	観光入込客数
			7, 250 千人 (R2)
			→ 7,468 千人(R7)
道南	縄文遺跡群を活用した魅力	■縄文文化の魅力発信と次世代	○多言語化など、縄文文化の理解促
【 6 プロジェクト】	発信と誘客促進プロジェクト	への継承の推進	進に向けて新たな取組を行った
		■遺産を活用した誘客促進	施設数(渡島地域)
			1 施設(R2) → 11 施設(R7)
道北	魅力ある地域資源を活かした	■空港運営の一括民間委託を契機	〇観光入込客数(道北連携地域)
【13 プロジェクト】	「きた北海道」への来訪促進	とした航空ネットワークの	2, 260 万人(R1)
	プロジェクト	充実・強化	→ 2,504 万人(R7)
オホーツク	オホーツク地域への人口定着	■移住・定住の促進に向けた取組	〇新規高卒者の管内就職内定率
【 5 プロジェクト】	の推進プロジェクト	の推進	67. 7% (R2)
		■若年層の地元定着促進に向けた	→ 75.0% (R6)
		取組の推進	
十勝	未来につなげる環境・先進分野	■自然環境の保全・適正利用や、	〇ゼロカーボンシティ表明
【4プロジェクト】	十勝プロジェクト	再生可能エネルギーの利活用	市町村数
		などによるゼロカーボン北海道	1 市町村(R2)
		の推進	→ 19 市町村 (R7)
釧路・根室	「ゼロカーボン北海道」への	■社会システムの脱炭素化と再生	〇新エネルギー発電設備容量
【 5 プロジェクト】	貢献プロジェクト	可能エネルギーの最大限の活用	47.4万 kW(R1)
		■森林等の二酸化炭素吸収源の	→ 52.8万kW(R7)
	7. 1. 45 CD	確保と自然環境の保全	

(※)連携地域を越えた振興局間で取り組むプロジェクトは、主となる振興局が属する連携地域のプロジェクトとしてカウント

4 推進管理

方針を効果的に推進していくため、振興局は「地域づくり連携会議」において、各プロジェクトの 進捗状況等の点検・評価を行い、必要に応じて取組内容の充実を図るなど、PDCAサイクルによる 推進管理を行う